

# 浦安とみおか川柳会

## 四月例会結果

日時: 令和5年4月11日(火)

出席者: 真田宣子、塩見和昭、谷口勝、長谷川智、藤三休、三浦みちえ、光永ひかる、森山裕子、山岸順、山口しだれ、山口昇柳

講師: 佐藤青樹

点数  
講師  
推奨  
課題「最初」互選  
講評\*佐藤青樹

9 さあおいでつかまり立ちの手を離す ひかる

7 今日もまたドラマ乗り込む始発駅 和昭

種々の人生ドラマを乗せて発つのでしようね  
様々なドラマを乗せる始発駅

6 最初から折れてた君に今も折れ 宣子

4 スタートを一步遅らせ楽に生き ひかる

「折れる」は貴女に従う? 拡大解釈して「惚れる」?  
何の「スタート」か、読者には分からないのでは

味よりも初物選ぶ好奇心 しだれ

一読明快の句

入念の化粧で遅刻入社式 勝

「入念の化粧」が効いて上手くできました

一姫の次は太郎と陰の声 和昭

一姫の次は太郎と外野席

3 神童も今ではただのお爺さん 宣子

神童も老いては子らに教えられ

きれいだね最初の言葉で初デート 智

中八では。「最初の言葉」と「初デート」ダブル気味

初デート君は美人に惑わされ

2 一人暮らしの親父に送る朝メール 順

一人暮らしの父親への心使い読み取れる。「独り、ひとり」が良い

育児書が先生だった最初の子 裕子

昔は母親や祖母という先生がいましたか…

最初がグー負けて涙の知恵がつき 順

「涙の知恵」の絵が見えるともっと良くなるのでは

2 浦安が最初戸建て楽しく生き 昇柳

初めての戸建てへ家族沸き上がり

初めは恋今は検査で痛む胸 宣子

初恋へ震えた胸を痛む老後

1 カラオケの出だし好調靴が鳴る しだれ

前世など語りはしない揚羽蝶

句の解釈を読者に任せた句か

暴投でデッドボールの始球式 勝

市長様デッドボールの始球式

子は母の居場所確かめ遊びの輪 みちえ

母親の居場所確かめ遊びの輪

最初がグー夫婦喧嘩はパーで負け 順

痴話喧嘩最初はパーでグーに負け

最初からお風呂の水は抜けないの! 昇柳

「抜けないのよ!」か「できないの」か?記号は使わない

自分流最初最後の生前葬 勝

ヒロシマへ初の原爆キノコ雲 裕子

ヒロシマへ人類初のキノコ雲

馴れ初めを聞かれときめき思い出す ひかる

とりあえずちよい呑み頼む縄のれん 順

先ずビールそして枝豆縄のれん

二十五年震災備蓄最初抜く 昇柳

のつけから跳ねる若駒六冠目

新所帯まずは百均へ品定め

老舗鮎感動も次こんなもの

願いごと最初は家族神頼み

初打席ホームランでの祝い酒

課題「親しい」二人選 光永ひかる選

秀	喧嘩もし和解も出来る永い友	裕子
客	冠婚の縁者の顔がわからない	和昭
秀	親しみの込めた電話に惑わされ	みちえ
客	有名になると親戚増えてくる	順
秀	好きでもない韓流ドラマ君と見る	宣子
客	先生のおだ名飛び交う同期会	みちえ
秀	親しくも時には棘の競い合い	しだれ
客	仕事なく貧乏神とランデブー	勝
秀	親しさが増してやがては恋になる	裕子
客	鶯と会話のはずむ梅の花	勝
秀	親しさの証に貫う長い愚痴	裕子
客	お先にと竹馬の友は死出の旅	勝
秀	アリバイの片棒担ぐ無二の友	順
客	結び目に遊びを作る友の仲	
秀	信頼を重ね極上ミルフィール	
客	近すぎて心の根雪まだ溶けぬ	

自由吟 森山裕子選

秀	紅一本買って備える脱マスク	みちえ
客	ライントーク元気出る出る一時間	しだれ
秀	記念日にブーケ代りの手巻き寿司	ひかる
客	健さんを真似て無口の貌となる	順
秀	年老いて都会に帰るUターン	勝
客	あれこれと胸に秘め事古希の坂	ひかる
秀	眠りの海たどりつけずに数増える	宣子

課題「親しい」二人選 塩見和昭選

秀	鶯と会話のはずむ梅の花	勝
客	仕事なく貧乏神とランデブー	勝
秀	先生のおだ名飛び交う同期会	みちえ
客	結び目に遊びを作る友の仲	ひかり
秀	お先にと竹馬の友は死出の旅	勝
客	親しさが増してやがては恋になる	裕子
秀	親しみの込めた電話に惑わされ	しだれ
客	親友と微妙な距離の保ち合い	しだれ
秀	アリバイの片棒担ぐ無二の友	順
客	近すぎて心の根雪まだ溶けぬ	ひかり
秀	親しくも時には棘の競い合い	しだれ
客	有名になると親戚増えてくる	順
秀	親しさの証に貫う長い愚痴	裕子
客	隠れんぼ竹馬の友は黄泉で待つ	
秀	お犬様赤子以上に撫育され	
客	冠婚の縁者の顔がわからない	

客	白黒に含みを持たせる老いの知恵	和昭
秀	お茶しない利休はナンパの天才だ	三休
客	ドブ板が減って選挙に負けました	勝
秀	処理水へ風評もまた流れ出す	順
客	コロナ明け地球を回るパスポート	順
秀	抜け道を選んだはずのどん詰まり	和昭
客	マイアミの宙に侍舞う歓喜	
秀	少子化へあの手この手を皿に盛る	
客	長電話そうねそうねと聞き流す	

「犬吠」四月号 掲載会員句

補聴器をつけず悪口風に飛ぶ(宣子)  
 米寿です生き生き生きてボランティア(昇柳)  
 スランプへ紅梅ポット咲いてみせ(裕子)  
 ききわけないスマホに老軀拉致される(和昭)  
 につこりと笑うしかない空財布(順)  
 愛の鞭いじめとの差紙一重(勝)  
 氷点下瓦礫の下で待つ命(みちえ)

例会のお知らせ  
 日時 令和5年6月13日(火)  
 13:00~16:00  
 場所 富岡公民館  
 課題 「カラー」互選 :3句  
 「配る」二人選 :3句  
 自由吟 :3句  
 浦安川柳大会の案内  
 7月16日(日)

# 川柳いろいろ

## 没句

一人選（親しい）

初回でも親しみやすい人が良い  
親しげに話す頭の中は×  
気心を嬉しい気持ち口静思  
年賀状今年も元氣友の顔  
結び合った手を広げれば笑い顔  
丹田を親しく気入れ対峙する  
親友を妻は悪友と言っている  
近隣と挨拶のみの40年  
百寿へと笑顔の影へ親しむる  
夫婦間親しいほどに気をもまれ  
親しみの温度差のあるクラス会

## 自由吟

明日への夢ふくらます趣味の会  
ノーマスク春の息吹吸い込み肌に風  
買う前にポイント数で品定め  
無の境地悟り開くと認知症  
花嫁の父は式では涙顔  
液体も固体も値上げ春嵐  
孫はまだか余命幾ばく翁は待つ  
国会にもピッチクロック導入だ  
ネットから買物ゲット母苦戦  
老け顔をさらす覚悟の脱マスク  
母の墓参ればいつも白い蝶  
拾い犬恩を忘れて逃亡す  
息乱れ励ますように万歩計  
外国人マスク付け出す観光地  
不意に出たきつい言葉がのしかかる  
乱れ散る冬の芸術枯れ紅葉  
サムライのぎやふんとメジャー言わしめる  
政治家の伝染病は二枚舌

## 川柳の理論と実践

### 新家完司

#### 避けるべき表現（一）

・ことわざを避ける  
「ことわざ」はいずれも簡潔な言い回しで風刺や教訓を含んでいますので、作品に利用して良い気がします。しかし、そのことわざの意味を超えて作者独自の見解を示すことは至難です。例えば

- ① 株価下落待てば海路の日和あり
  - ② 捨てる神あり拾う神あり信じよう
  - ③ 生き延びて転ばぬ先の杖を持つ
- ①ことわざに「株落下」を付けただけ、待つてたら株価はまた上がるのは明白です。いわば当然のことです。  
②「捨てる神あれば」のあればを「あり」にして「信じよう」をくつつけただけ。  
③「転ばぬ先の杖」ということわざに「生き延びて」を付けただけで新鮮さが無い。ことわざそのものが適切な比喻で完成しているから、他の言葉を付け加えても新しい意味を持たせることはできません。

#### ・四文字熟語を避ける

四文字熟語は漢字四個だけです。ことわざよりも句の中に取り入れやすい感じがします。音数も七音程度ですから、作者の見解を述べる余裕もあります。しかし独自の性のある作品に仕上げるのはむづかしいものです

- ① 夫唱婦随注いで注がれて二人酒
  - ② 右顧左眊してわたしが消えてゆく
  - ③ 四面楚歌つめたい酒をひとり汲む
- ①「注いで注がれて二人酒」だけで二人が仲が良いのは分かる。「夫唱婦随」は説明過剰です。  
②右顧左眊していると自分の存在とか個性が希薄になっていくのは当然ですから、「独自の想い」がありません。  
③周囲が敵ばかりになるのは何か原因があるはず。その原因や人間関係のもつれこそ川柳の格好の素材です

#### 次の句はどうか

・四面楚歌故郷は豆の花の頃  
他の句とは大きな違いがあります。四面楚歌と豆の花は何の関係ありません。自分の想いを独立させることにより「望郷の想い」が際立ち诗情豊かな作品になっています。

## 鑑賞 犬吠 令和三年五月号より

### フラワーライン

#### ・千紫万紅より

サブリメントが効いているのか無駄なのか  
若者の会話に付いて行けぬ古い  
窓口を選んで買ったはずれくじ  
リモートで絆をつなぐお正月  
AIが判定下す認知症  
吊革に素手でつかまる気味悪さ  
分相応の年金少し不足する  
肩すかしグラデーションのないオトコ  
人の死にさえも日に慣れていく  
劣化する立て看板もわたくしも

#### ・黒潮集より

飲み過ぎへ叱る妻など無い孤独  
筆順を直そうとせず生きていく  
体力の限界を知る老いの視野  
丁寧生きる自分の持ち時間  
快調なときこそ風の音を聞く

### 金波銀波（各地句会報）より

狭き門よらずの神の手を握る  
主導権握る女の鼻濁音  
投げられて重責担う五円玉  
いいことも明日はあるだろうに自死  
口程に動かぬ足に焦り出す  
日々マスク無口なボクは好都合  
励ましが生きる意欲に火をともし  
お隣の喧嘩愉快に拾う耳  
加賀友禅母の仕立の二十歳の日  
衣替えまた捨て切れずタンス肥え  
門松も消毒されて面喰い  
ゴルフ場能書きだけが先に飛び  
道具だけ残るかじっただけの趣味  
嫌だった母に似てきた歩き方

- 高橋半目
- 叶多貞子
- 栗林むつみ
- 塩見和昭
- 松下かずお
- 井上栄二
- 京増京介
- 中嶋常葉
- 岩間直美
- 丸尾純子
- 佐藤青樹
- 竹下圭子
- 堀江加代
- 中川記世子
- 藤井敏江
- 石黒由美子
- 小林洋子
- 小林 修
- 菅井京子
- 松野久美子
- 矢野明朗
- 柳沼憲二
- 中野良子
- 稲沢ひろせ
- 増川みずえ
- 長谷川しげる
- 石井克己
- 今別府文乃
- 真田宣子

互選句 課題「無口」

令和五年 五月例会

浦安とみおか川柳会

18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
姦しい客には蟹のおもてなし	無言館君の心を受け取った	好きな子に強く投げた雪合戦	多数決へひとり私は貝になる	喋らない父の手先を母は読む	御喋りを忘れ頬張るいちご狩り	寡黙ゆえ受け身ばかりでまだ独り	理不尽な仕打ちかこてず貝になる	好きですと無口が薔薇に語らせる	丹田を親しく気あい対峙する	おしゃべりの妻に無口の夫添い	喋らずも目が怒ってる父の顔	喧嘩後無口を通す君の勝ち	勝算があつて無口のままにいる	ヨガ教室無口なお尻が突然プー	波静か寡黙な人に合わせてる	一週閑無口通して妻の勝ち	胸の内言わぬが花の思いやり
36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19
			敗将の兵を語らず頭垂れ	無口同志いざこざ起きぬ夫婦仲	白寿へと笑顔の影へ親しむる	本の虫図書館通い寡黙人	お喋りな友は静かに棺の中	無口な目君の心を語ってる	女房の小言に黙ってうなだれる	かつ井を我慢している黙秘権	一言も話さず今日は終りかな	検診の結果主治医が押し黙り	もの静か虫の居どころ教えない	万馬券口にチャックも目が笑う	体重と歳は女を貝にする	気心を嬉しい気持ち口静思	人の口おしゃべり妻の意志堅い